

令和3年度 芭蕉忌句会 応募状況

一般応募 51名

高山市	41名
飛騨市	5名
その他	5名

高校生応募 29名

斐太高校	1名
飛騨神岡高校	4名
吉城高校	24名

結果は別紙

令和三年度 道伝えの日 芭蕉忌句会 入賞句

○ 兼題句 「芭蕉忌」

- ・ 俳人協会岐阜県支部長 大野 鶴士 選

〔推薦〕

二一、 播粉木の母より減らず芭蕉の忌

野村 勝巳

母から受け継いだ播粉木が減っていないのは、働いていない故か？ユーモアの味を湛え、はるかに台所方料理人であった若き日の芭蕉を偲ばせる。

五〇、 芭蕉忌やあかざの杖に触れもして

鈴木 齊夫

芭蕉の岐阜滞在時の挨拶句を踏まえた。具体的な藜あかざの杖に触れ、旅に生きた芭蕉を偲ぶ心持ちがよく伝わって来る。

- ・ 互選

〔一席〕

四、 芭蕉忌や句は終りなき旅に似て

柴田 恭子

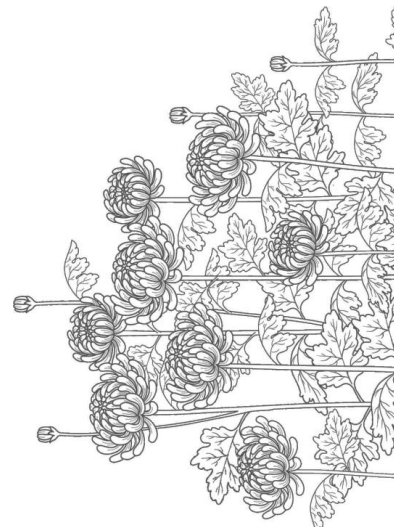
〔二席〕

三三、 時雨忌や肌着一枚足す旅荷

山越 朝子

四五、 時雨忌の旅立つ朝の福茶かな

竹本 かほる



令和三年度 道伝えの日 芭蕉忌句会 入賞句

○ 当季雑詠句 (秋・冬)

・ 俳人協会岐阜県支部長 大野 鶴 士 選

〔推薦〕

三六、 鷹舞ひて螺旋の風の生まれけり 七種 年男

大空を統べるように飛んでいる鷹の生む、目に見えない風を「螺旋の風」と物質感をもって言い切った点に手応え。句柄の大きい堂々たる一句。

四六、 ケント紙あに生るる天馬や星月夜 澤木 正子

ペガサスが用紙に描かれた刹那を詠んだ。それを「生るる」と表現し、命なき描かれた天馬に命を吹き込んだ想像力が絶妙。かくて星月夜を天翔ける詩的幻想が完成。

・ 互選

〔一席〕

三六、 鷹舞ひて螺旋の風の生まれけり 七種 年男

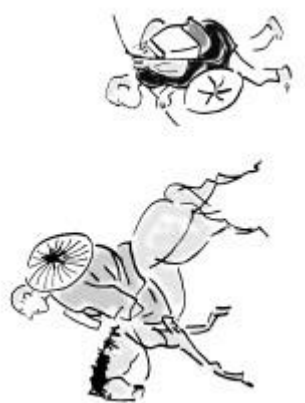
〔二席〕

五〇、 秋天へ稜線を研ぐ槍・穂高 鈴木 齊夫

〔三席〕

四、 高らかに勝利の校歌雲の峰 柴田 恭子

一一、 町染めて岳染め上げし秋落暉 高木 みつ江



令和三年度 道伝えの日 芭蕉忌句会 高校生の部 入賞句

○ 当季雑詠句(秋・冬)

・ 飛驒俳句会選

〔飛驒神岡高等学校〕

入賞	夕焼けや母と歩いた稲穂径	二年	井上 ^{いのうえ}	実咲 ^{みさき}
〃	栗のいが刺さるが如し胸の奥	一年	中島 ^{なかしま}	彩音 ^{あやね}

〔吉城高等学校〕

入賞	流星や一瞬の夢掴み取る	三年	岩畑 ^{いわはた}	伶奈 ^{れな}
〃	秋の蝉明日も生きると日に叫ぶ	三年	田上 ^{たがみ}	雷 ^{らい}
〃	グラウンドにやさしき黄色秋の蝶	二年	加藤 ^{かとう}	凜 ^{りん}
〃	いつて来ます大きく一息秋の霜	二年	小坂 ^{こさか}	哲太 ^{てつた}
〃	柿日和喋らないのも思いやり	二年	洞口 ^{ほらぐち}	翔崇 ^{しょうせい}

